

佐世保工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本語と文学	
科目基礎情報							
科目番号		0046		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	1		
教科書/教材		配布レジュメ／国語辞典					
担当教員		大坪 舞					
到達目標							
1.日本語の歴史を学び、日本語の特性を理解している。(C1) 2.手紙文の形式を習得し、自ら書くことができる。(C1) 3.レポートの目的を理解し、適切な形式を習得する。(C1) 4.ピア活動を通して、読み手を意識したレポートを書くことができる。(C1) 5.文学と社会について学び、現代の問題に還元することができる。(C1)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本語の特性を理解し、場合に応じて正確に使い分けができる。		日本語の特性を理解し、場合に応じた使い分けを意識している。		日本語の特性理解が不十分で、場合に応じて使い分けができない。	
評価項目2		ピア活動を通じて、他者を説得できる文章を書くことができる。		ピア活動を通じて、論理破綻の少ない文章を書くことができる。		ピア活動をせず、他者に伝わる文章を書くことができない。	
評価項目3		文学が社会に及ぼしてきた影響を理解し、これを現代社会の諸問題に援用することができる。		文学が社会に及ぼしてきた影響を説明することができる。		文学が社会に及ぼしてきた影響を説明することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本語の特性を学び、文章表現能力を磨く。また、文学が社会において果たしてきた役割を知ること、現代社会における文学・メディアのバイアスを考える。					
授業の進め方・方法		授業は教員からの問題提起と、学生同士でのピア活動を重視して進める。それぞれが受け身ではなく、主体的に討議することを求める。またBlackboard上での情報提供も行う。					
注意点		試験の平均点の3割に満たない者については、成績不振者のための追試験を実施しない。 各授業項目および授業時間の配分は、学生の理解・習得の状況を確認しながら、変更することがあり得る。 また、授業内で提出する文章は、全体に公開することを前提に記すこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 日本語の歴史①		授業の目的を知る。 日本語の変遷を知り、言語特性を理解できる。		
		2週	日本語の歴史②		日本語の変遷を知り、言語特性を理解できる。		
		3週	手紙文を書く①		手紙文の文体を知り、形式を理解できる。		
		4週	手紙文を書く②		目的に応じた手紙文を書くことができる。		
		5週	手紙文を書く③		目的に応じた手紙文を書くことができる。		
		6週	レポートの書き方①		レポートを書くための文体を理解できる。		
		7週	レポートの書き方②		パラグラフライティングを習得する。		
		8週	レポートの書き方③		情報の引用方法を学び、適切に出典を記すことができる。		
	2ndQ	9週	レポートの書き方④		レポートのテーマを考え、構想を練ることができる。		
		10週	レポートの書き方⑤		情報を整理し、信頼性を検討できる。		
		11週	レポートの書き方⑥		レポートの構成を練り、討議できる。		
		12週	レポートの書き方⑦		学んできたことをもとにレポートを執筆できる。		
		13週	文学と社会①		文学作品の社会における位置づけを理解できる。		
		14週	文学と社会②		文学作品の社会における位置づけを理解できる。		
		15週	文学と社会③		文学作品の社会における位置づけを理解できる。		
		16週	試験返却				
評価割合							
		試験		レポート・提出物		合計	
総合評価割合		70		30		100	
基礎的能力		70		30		100	
専門的能力		0		0		0	
分野横断的能力		0		0		0	